

# せんだいのスポーツむかし話

## 仙台藩の武道とスポーツ① 伊達家の鷹狩り

仙台市博物館 学芸普及室 菅原 美咲

### 第2回

#### 江戸時代の鷹狩り

江戸時代、鉄砲や鷹狩りなどの狩猟活動は、武士の嗜みであり、心身鍛練を目的とした武芸の一つに位置づけられていました。特に鷹狩りは庶民一般が楽しめる遊戯ではなく、將軍、大名や一部の家臣といった特権階級に限り、鷹狩りや鷹自体が権力の象徴として認識されていたのです。仙台藩領は良質な鷹の産地でしたから、藩主は鷹を幕府や他大名への献上品など、贈答品に用いました。鷹の贈答は江戸時代の重要な政治活動でもあったといえます。

#### 伊達家と鷹狩り

歴代仙台藩主は、視察も兼ねて藩内



伊達重村愛用の鷹  
佐久間栄学筆「鷹図」(部分) 共生福祉会蔵

七代藩主伊達重村は、歴代藩主の中でも特に鷹狩りを好みました。重村は数十羽の鷹を従え、連日各所へ鷹狩りに出たり、お気に入りの鷹の姿を御用絵師に命じて描かせたりしています。また、仙台藩の鷹匠を幕府の鷹匠へ弟子入りさせました。さらに、放鷹の流派の一つである諏訪流とゆかりの深い諏訪神社を、鷹匠らが住む城下の米ヶ袋に勧進したりするなど、その行動は武士の嗜みの域を超えており、まさに「鷹を愛した藩主」といえるでしょう。

#### 鷹を愛した藩主、伊達重村

各所で鷹狩りを行いました。藩主が鷹狩りを行う山野は「御留山」や「御留野」とよばれ、一般の狩猟や立ち入り制限されました。鷹狩りには、獲物を追いかける勢子の配置や鷹の差配等を行う鷹匠らが同行します。彼らは鷹の調達、飼育、調教などを行う専門集団で、その職務に応じて鷹匠頭、鳥見横目、餌差などが組織されていました。鷹の調教法にはいくつかの流派があり、仙台藩では吉田流、大宮流、広田流などの流派が確認できます。

#### 仙台藩の正月行事「野始」

仙台藩の藩主在国中の正月行事の一つに、正月三日に行われる「野始」があります。これは、松森山で行われる大規模な狩猟を中心とした行事です。武器を備えた藩士らが行軍し、途中鉄砲や放鷹による狩猟のほか、「一騎打ち」という家臣による模擬戦、足軽による「鉄砲百挺連発」が藩主御前で行われます。「松森行厨場」では野陣を張り、雉などの複数の鳥を鉄砲や放鷹で狩りました。この狩りには勢子として村人も動員され、江戸時代中期には家臣から村人まで総勢二千人以上が参加しました。行軍、一騎打ち、鉄砲上覧、山中での配陣と狩猟活動といった一連の行為は、平時における武術訓練の意味を持ちました。しかし一方で、身分を超えて大勢が参加して心身の鍛練を行い、またそれを見物し、酒肴などの振る舞いで新春を祝うめでたい行事という側面もありました。その点では、イベント性という面で近代以降のスポーツと共通するかもしれません。



安政四年御野初行列図巻(部分)  
仙台市博物館蔵

## 仙台市史

全32巻

上の記事で紹介した仙台藩の武道や鷹狩りについて詳しくは、仙台市史の通史編4巻でご覧いただけます。市制100周年記念事業として編さんが行われた仙台市史は、原始から平成元年に仙台が政令指定都市となるまでの事象をあつかい、最新の研究成果を盛り込んだ内容になっています。

「通史編」9巻のほか、古代から現代までの歴史資料で構成される「資料編」13巻、特定のテーマを詳しく掘り下げた「特別編」9巻に、「年表・索引」1巻を加え、全32巻が刊行されています。仙台市史を通して、仙台市の歴史に思いをはせてみませんか。購入方法等は博物館HPでご覧いただけます。



- 通史編 原始、古代中世、近世1~3、近代1・2、現代1・2
- 資料編 古代中世、近世1~3、近代現代1~4、仙台藩の文学芸能、伊達政宗文書2~4(伊達政宗文書1は完売)
- 特別編 自然、美術工芸、市民生活、板碑、民俗、城館、慶長遣欧使節、地域誌(考古資料は完売)

#### 企画展「仙台の美と出会う」の開催中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月24日(金)から予定しておりました企画展「仙台の美と出会うー福島家三代の書画・工芸品コレクションー」の開催を見送っております。

今後の予定等が決まりましたら、博物館のホームページやツイッター等であらためてご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館日などが変更となる場合があります。最新の情報は、博物館のHPやツイッターをご覧ください。

▶博物館ホームページ <https://www.city.sendai.jp/museum/>

※検索する場合は →  検索

▶博物館ツイッター @sendai\_shihaku 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台北三の丸跡) TEL:022-225-3074

仙台市博物館  
SENDAI CITY MUSEUM